

# 伊予高校 図書館だより Library News 2024.10



図書委員会では10月24日の全校集会で「ブックトーク」を行いました。今回のテーマは「愛媛県にゆかりのある作家や作品」でした。このLibrary Newsで7冊の本を紹介します。



俳句甲子園 公式作品集 第10号  
俳句甲子園実行委員会 監修  
書肆アルス

高校生たちが十七音という短い一句に夏を注いでいます。良いなと思った一句は「星空を歩いて茄子の無尽蔵」です。星空の下を歩き、茄子の畑を見ている光景を想像力と言葉の力によってまとめています。(302 明禮)



長浜高校水族館部  
令丈ヒロ子著 紀伊カンナ絵  
講談社

愛媛県大洲市の長浜高校水族館部は高校生が水族館を運営している日本で唯一の部活動です。部員たちが生き物を育てるだけでなく、水族館を公開し、研究活動をし、成果を挙げています。その様子が生き生きと描かれています。(101 林)



がんばっていきまっしょい  
敷村良子 著 幻冬舎

愛媛県の進学校に何とか入学した少女、悦子の退屈な日々にはボート競技が明かりをともします。自分の居場所を見つけますが、ボートが漕げなくなってしまいます。若さゆえの焦燥、挫折、淡い恋など、あの頃が切ないまでに鮮烈に描かれています。(301 江戸)



世界の中心で、愛をさけぶ  
片山恭一 著 小学館

物語は同級生の恋人の死から始まり、生前の彼女との出会いから彼女の発病・入院などの思い出を回想するように語られます。恋人の遺骨を盗んだ祖父の哀しくもユニークな話や二人だけの無人島デートの話など、この本でしか味わえない魅力があります。(201 高石)



悼む人  
天童荒太 著 文藝春秋

不慮の事故で亡くなった、自分とは全く関係ない人を悼む旅を続ける男性とその家族の物語です。人が人に対して行う慈悲や悲しみの共有、寄り添いとは何かと強烈に問われ、主人公を取り巻く家族に、読者の自分になりきってしまうほどのめりこんでしまいます。(202 水野)



坂の上の雲  
司馬遼太郎 著 文藝春秋

松山市出身の正岡子規、秋山好古、秋山真之たちの話です。貧乏から抜け出すために勉強をし、士官学校に入学した好古の話など主人公たちの心情や日露戦争へと突き進んでいく日本の情勢などが細かく描かれていて読み応えがあります。(201 大久保)



南海トラフ巨大地震①②  
b i k i 原作 よしづき  
くみち漫画 講談社

夢も希望もなく、日々をやり過ごしていた主人公が厄介なおじいさんに会い、生き方を改めようと決心した瞬間、巨大地震が発生します。逃れることができない宿命の巨大地震にどのように対応したらよいか学びました。(301 杉野)